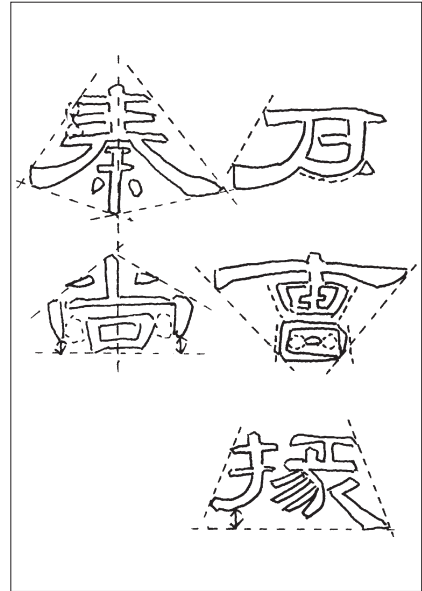


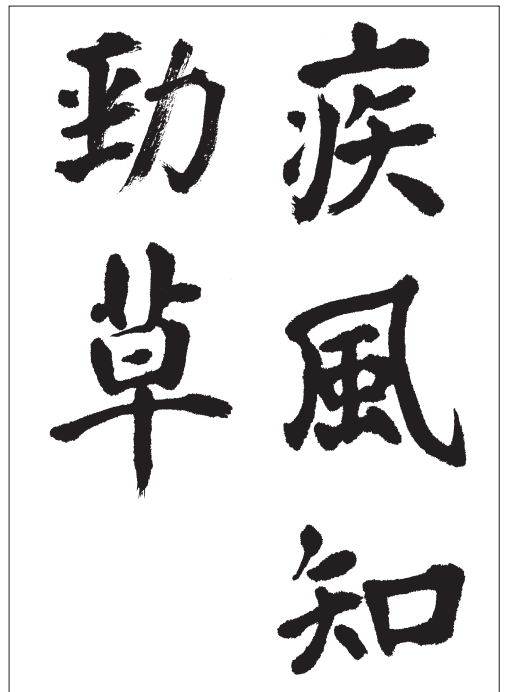
◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料420円



曹全碑 後漢

- 1、字句 戸曹掾秦尚
- 2、形式 半紙タテ使用。右に「戸曹掾」、左に「秦尚」と臨書し、左余白に「〇臨」と調和を工夫して書き入れる。
- 3、概観 「曹全碑」も最終回となります。隷書では、まず何から臨書したらよいかと考えた時、「礼器碑」、「張遷碑」、「西狭頌」と共に「曹全碑」の名をあげる人は多いと思います。私も今回改めて臨書してみても、波磔の美しさ、緻密に計算された字形や多様な線質に魅了されました。今回「曹全碑」を初めて臨書した方もいるかと思えます。普段書いていける「楷、行、草書」とは用筆が大きく異なる為に最初は戸惑ったかも知れませんが、「曹全碑」は隷書の規範とも言え、隷書の基本的構造を知る上で格好の古典です。これを機会に更なる深めを期待したいと思います。
- 4、各字のポイント
 - 戸 二画目藏鋒で入筆後力を加えながら運筆。四画目は強く入筆し△で筆の左側の面を使って稍曲線で。
 - 曹 一画目藏鋒で強く入筆後弧を描くように動き波磔。二、三画目の縦画は下にすばめるように。それに反して七、八画目は下を稍広げるようにし、中の小横画は左右をあげ懐を広くとる。
 - 掾 偏は狭く。旁は下部の「彡」は左に寄せ、終画でバランスをとる。秦 横三画は等間隔で。五、六画目の左右の払いはいゅったりと伸びやかに。

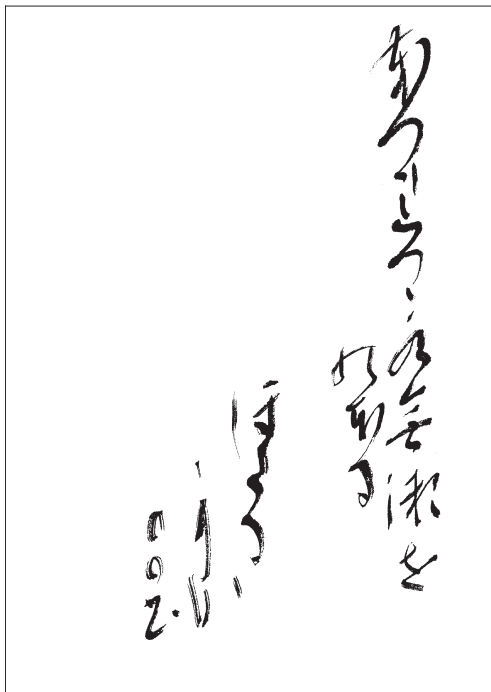
半紙課題(予告) (七月二十二日締切)



平岡華雪先生書 疾風に勁草を知る。(後漢書)

訳：光武帝の語。草の強いか弱いかは、強風が吹いてみるとわかる。人も然り。

平岡華雪先生書 もつれつつ水無瀬をのぼる蟹かな(樗良)



曹全碑



主簿王歷。戸曹掾秦尚。功曹史王頴等。

主簿王歷おうれき、戸曹掾秦尚しんしやう、功曹史王頴等おうせん、

条幅臨書部は半紙臨書部と連動しています。半紙に取り組んだ方は是非条幅にもチャレンジしてください。また条幅だけ出品も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「〇〇臨」と調和を

工夫し書き入れる。

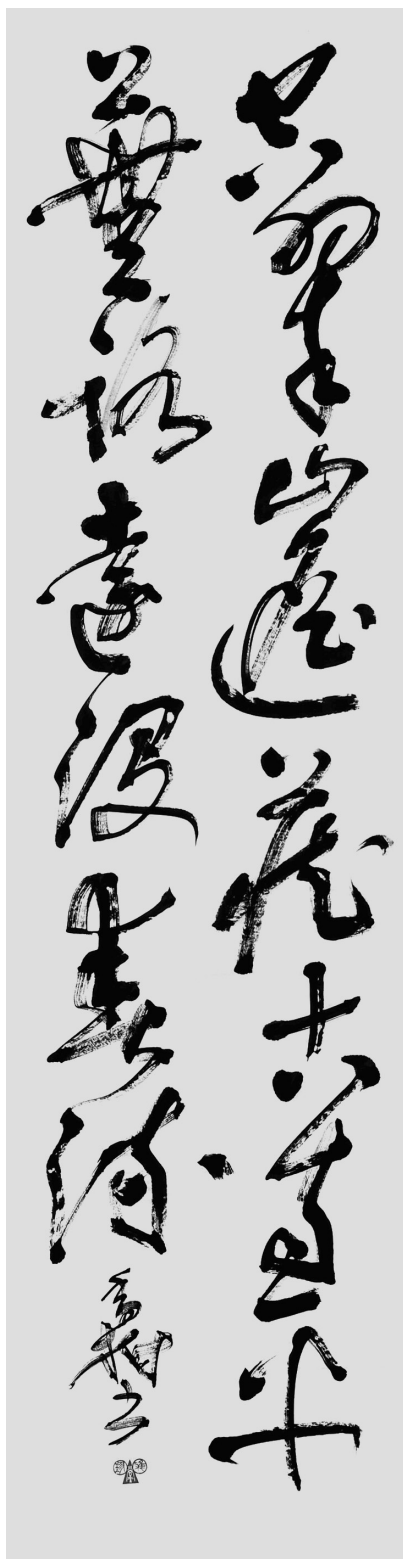
▽出品料五二五円。



◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A
高橋香樹先生書

空翠山遙藏古寺 平蕪路遠沒春流 (夏目漱石)
空翠山遙かに古寺を蔵し、平蕪路遠く春流を没す



B
鈴木静村書

今回は画数の多い文字が主に構成されています。そこで、全て草書で書くことにしました。草書はなるべくオーソドックスなものをと心懸けました。一行目は流れに変化をつけられたかと思うが、二行目は一行目と上手く呼応できたか疑問。連綿は三字連綿一ヶ所。二字連綿五ヶ所。墨継ぎは「古」と「遠」。



閑かな情景を想起しつつも、却って平板以上に活感が失せ沈潜作と反省の現在。渴筆線の「張り」のむずかしさに出迷う。左行終末、落款にまでと墨量を保たせたが、これが精一杯の感。みなさんの新味ある独自作を期待したい。藏 渴筆は苦しい感。平 筆順はヨコ点タテヨコ、筆順によって形も多様。字典参照のこと。蕪 いろいろな形。空との照応も考えて。遠 末画の節線は真似しないこと。伸びやかに払う。没春流 屈折線の草体 きびきびとリズム的に。訳：中空に連なる青い山々、はるかな山に古寺が抱かれている。広々とした平野、一筋の道が遠くのび、春の小川は流れゆく先が見えない。

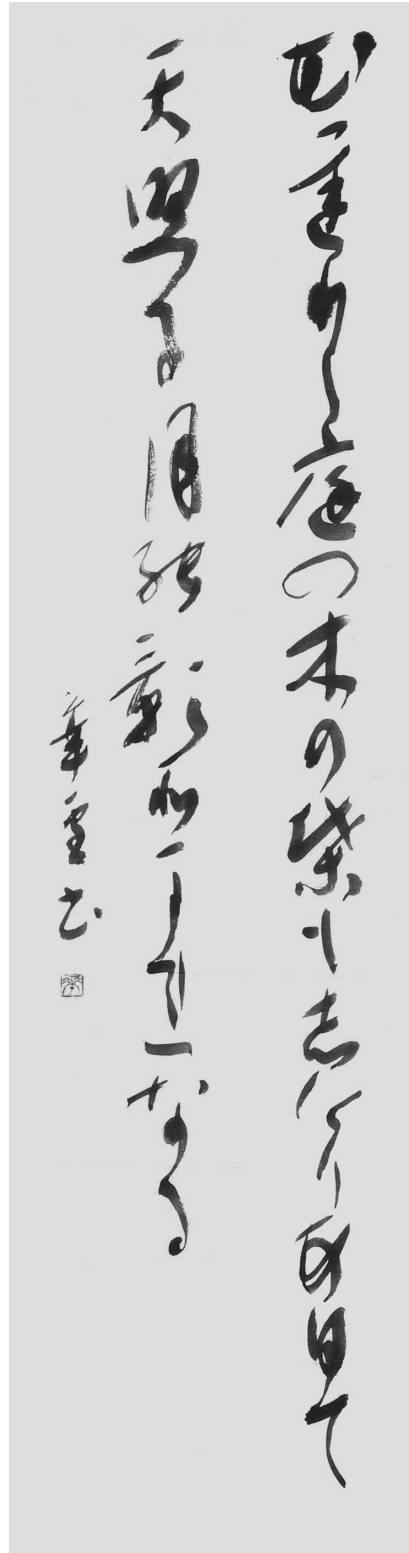
予告 (七月二十二日締切) 肯教軒冕移心志 未厭林泉入夢魂 (高士談)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

A

平岡華雪先生書

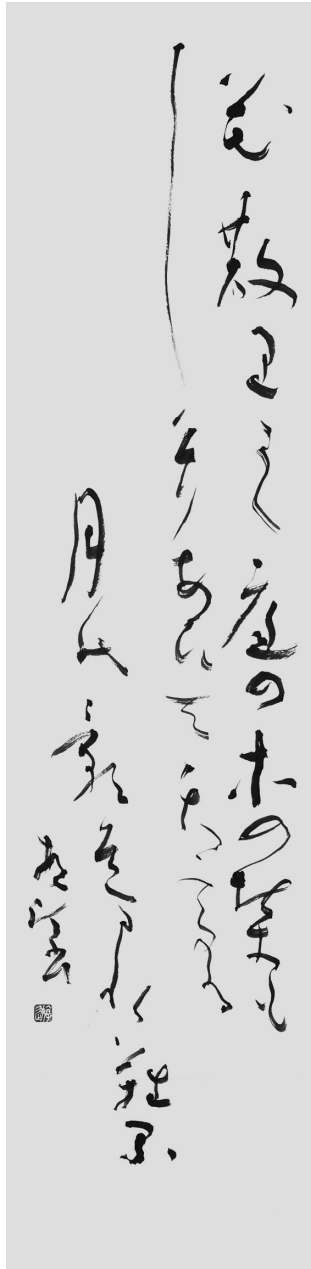
花ちりし庭の木の葉もしげりあひて天てる月のかけぞまれなる (新古今和歌集 曾禰好忠)
花遅利し庭の木の葉も志介りあひて天照る月能影所万連なる



B

立川遊汀先生書

花散里之庭の木の葉もし介りあひて天亭る月能影そ万れ難累

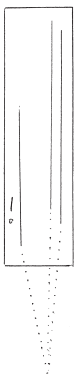


歌意
花の散った庭の桜の木の葉も、今はもう茂りあって、空に照る月の光がわずかにしかささないことだ。

学び方

構成について(半切タテ)
半切に短歌を書く場合、2行書き、3行書きが一般的だが、半切を上下に二分して、上の句、下の句を書くなど例外もあり自由である。今回は3行書き、3行の強弱(墨量、文字の大小、太細)で変化をつけタテの流れを強調してみた。

- ・1行目(強) 潤筆でかろく連筆。
- ・2行目(弱) 1行目に添わせるように軽く渴筆で。
- ・3行目(やや強) 軽く墨継ぎをして全体を引き締める。
- ・3行それぞれの行末の延長線が用紙の外で扇の要のようになるようにする。(作品が散漫にならない。)



予告 (七月二十二日締切)

空高くあがれば人のあふぐかな光はおなじほたるなれども (正風)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

条 幅 部 随 意 参 考

北 沢 博 舟 先 生 書

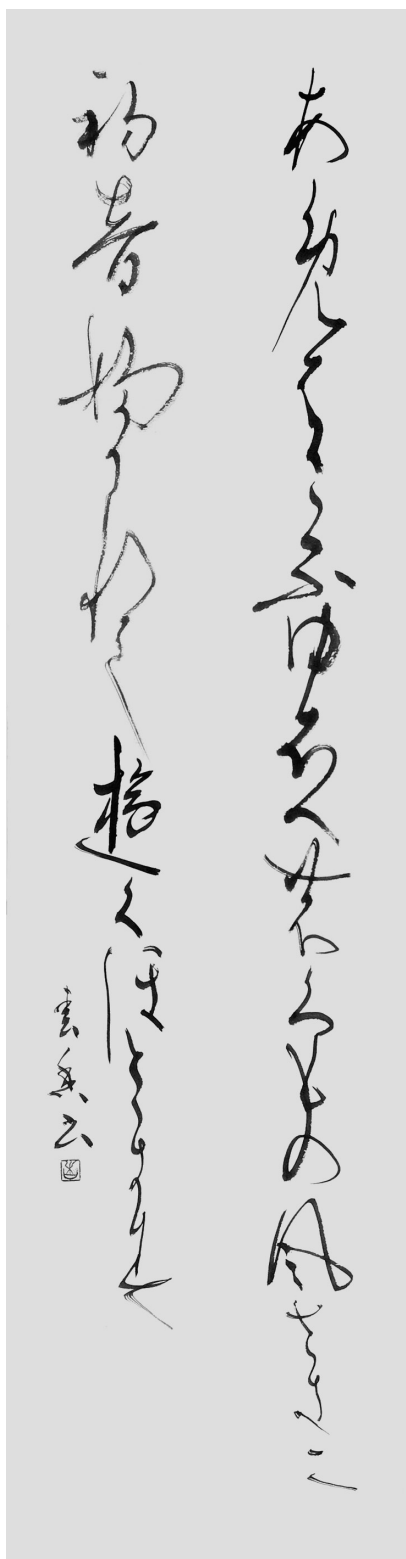
虹横復道中天断 〔雨打江潮带月收（王鑑）〕
 虹は復道に横り天に中つて断え、雨は江潮を打つて月を帯びて収まる。



訳：虹の橋は復道のようにかかって中天にて切れ、雨は入江の潮を打ちさわがせたが月のでとともに晴れた。

石 原 春 香 先 生 書

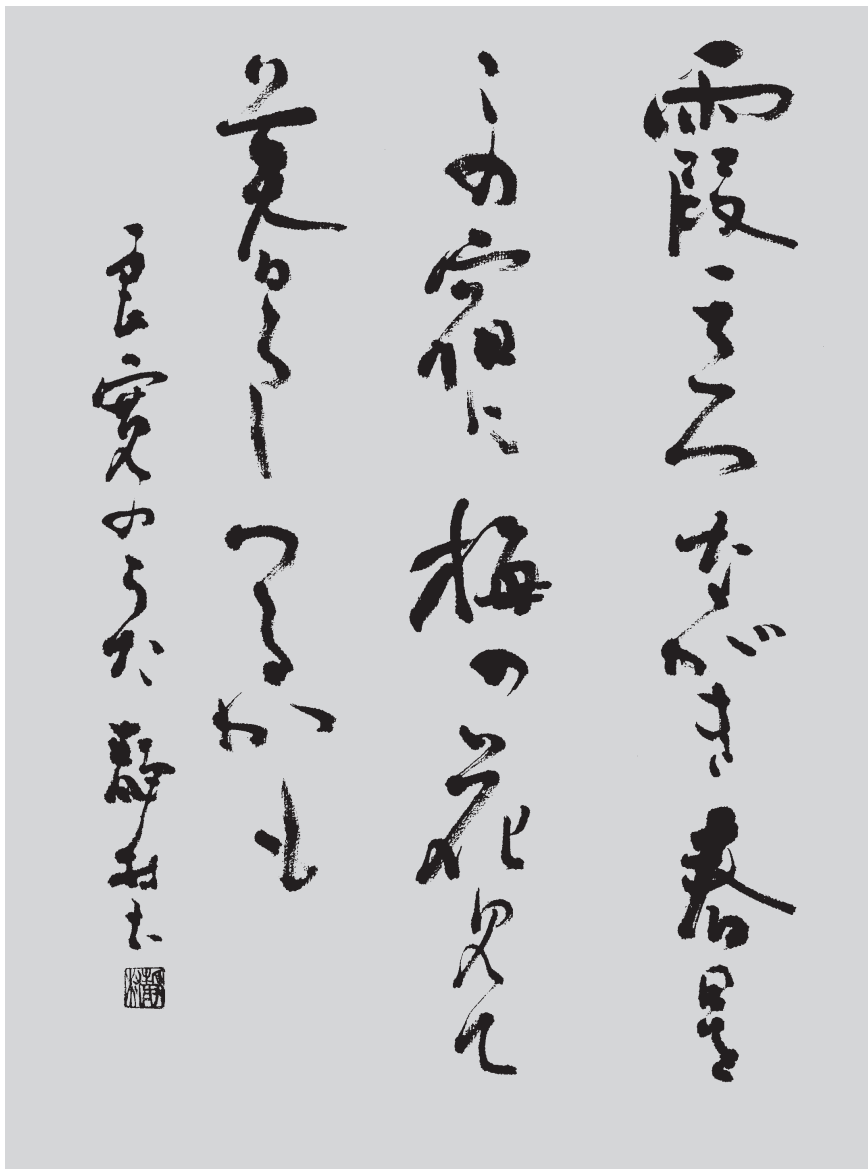
雨はこぶゆふべの雲の風さきに初音ふかれてゆくほととぎす（井上文雄）
 あ免者こふゆ不へ農くもの風さ支二初音婦可れ弓遊久ほと、支春



- ◆注 意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料525円）

鈴木静村書

霞が立ちこめる長閑な春の一日を、この弟由之の家で梅の花を見ながら、今日も気楽に過ごしました。いかにものんびりと寛いでいる情景が想い浮かんでくる。
 三行書きの棒書き(行書き)の淡々とした気軽さを狙い表出。書く姿勢は肘を上げ、運腕大きく、「かな」文字に強さを表わしたい。課題手本のキズとして、梅「の」、「暮」二字に空間の潰れ、手本として不可。各人もご留意の程を。



霞 筆順に注意。

がき 「かき」と書き濁点も可。

春 字幅がほしい。

て 一行目「を」に揃えたい。

らしつるかも かな

の連続。一様にな

らぬよう配慮工夫を。

落款も同様に。

霞立つながき春日を

この宿に梅の花見て

暮らしつるかも

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料525円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

発憤して食を忘る。(論語)
 訳…やむにやまれぬ求道心をおこして食事も忘れて熱中する。



〇〇書



落款は余白に調和させて入れる。

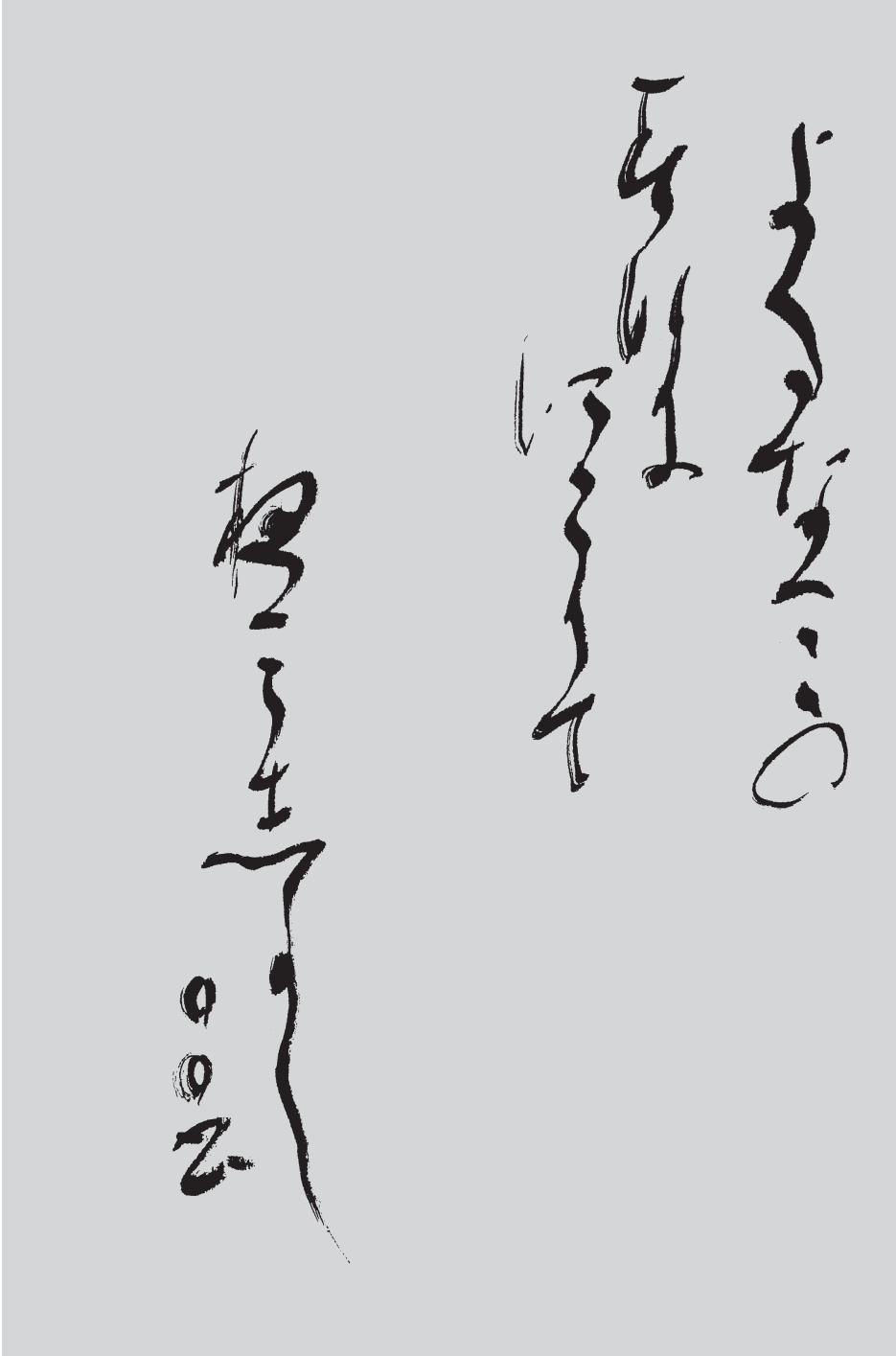


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

よる波の砂に濁りて夜みじかし(乙二二)
よるな三の春那尔にこりて夜三志可し



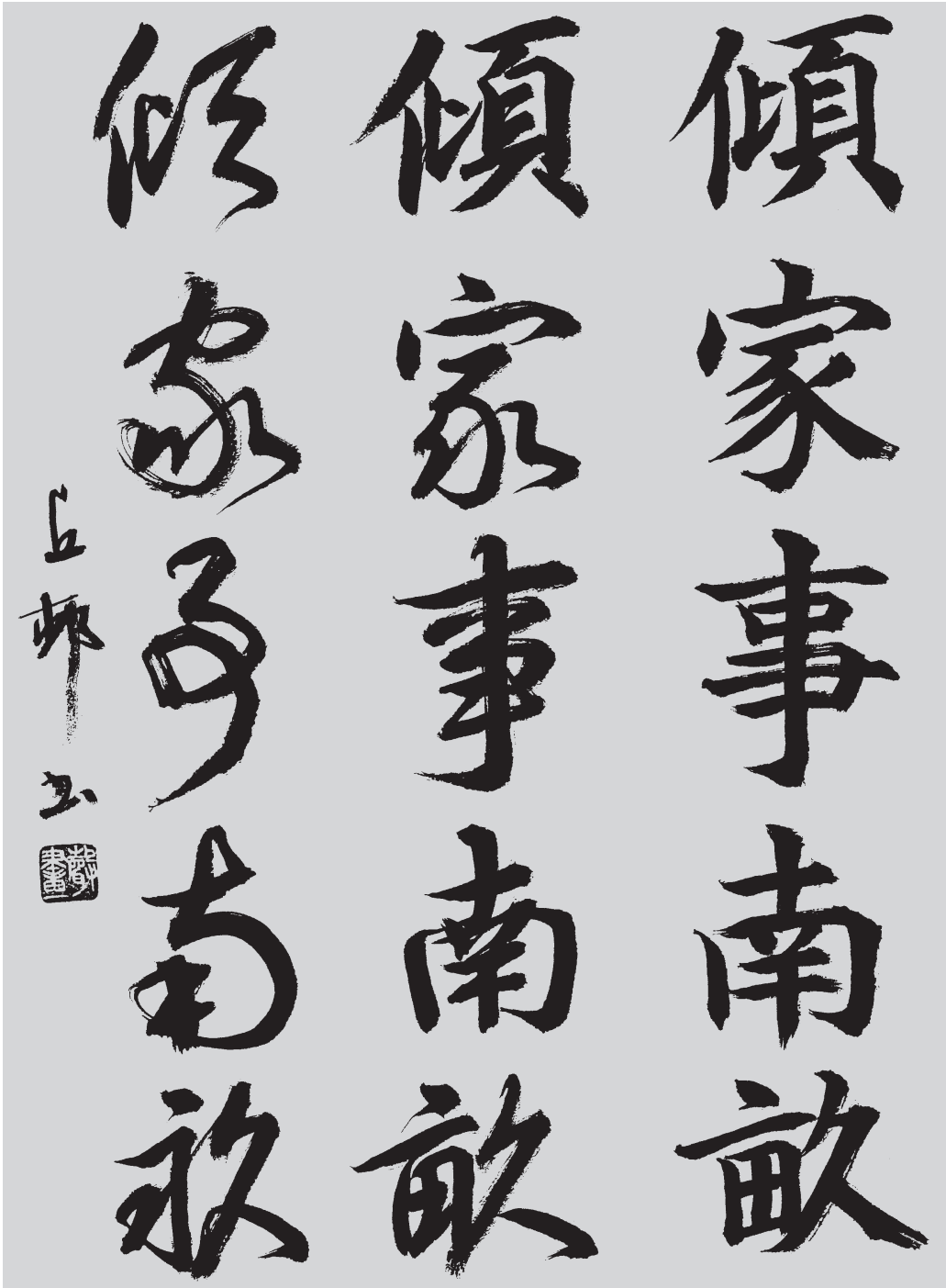
〈鑑賞で深めて〉
今回は、細かい説明は一切省き、三つの群を意識した上で、じっくりと鑑賞を深めて下さい。用筆の基礎を学び摂るように努めてみて下さい。細部については、各先生方の指導を仰ぎ、一人ひとり自分の力に即して、意識的に精進されるよう切望します。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

戸張丘邨先生書

傾家事南畝（王維）
家を傾け南畝に事す。

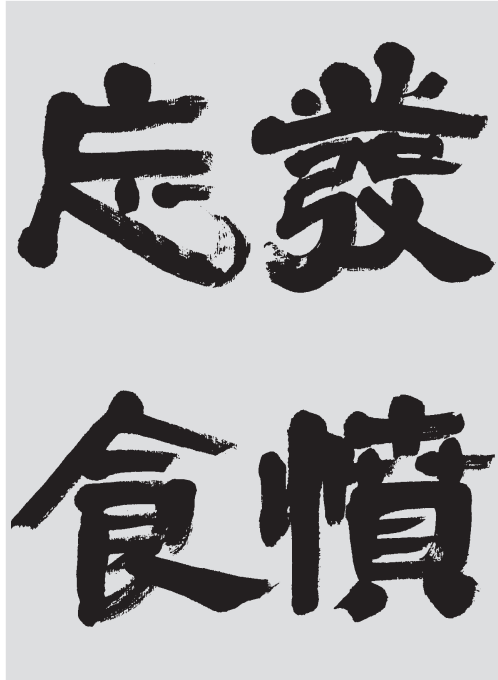


訳：一家をあげて南の田圃で精だしている。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

高橋香樹主幹書

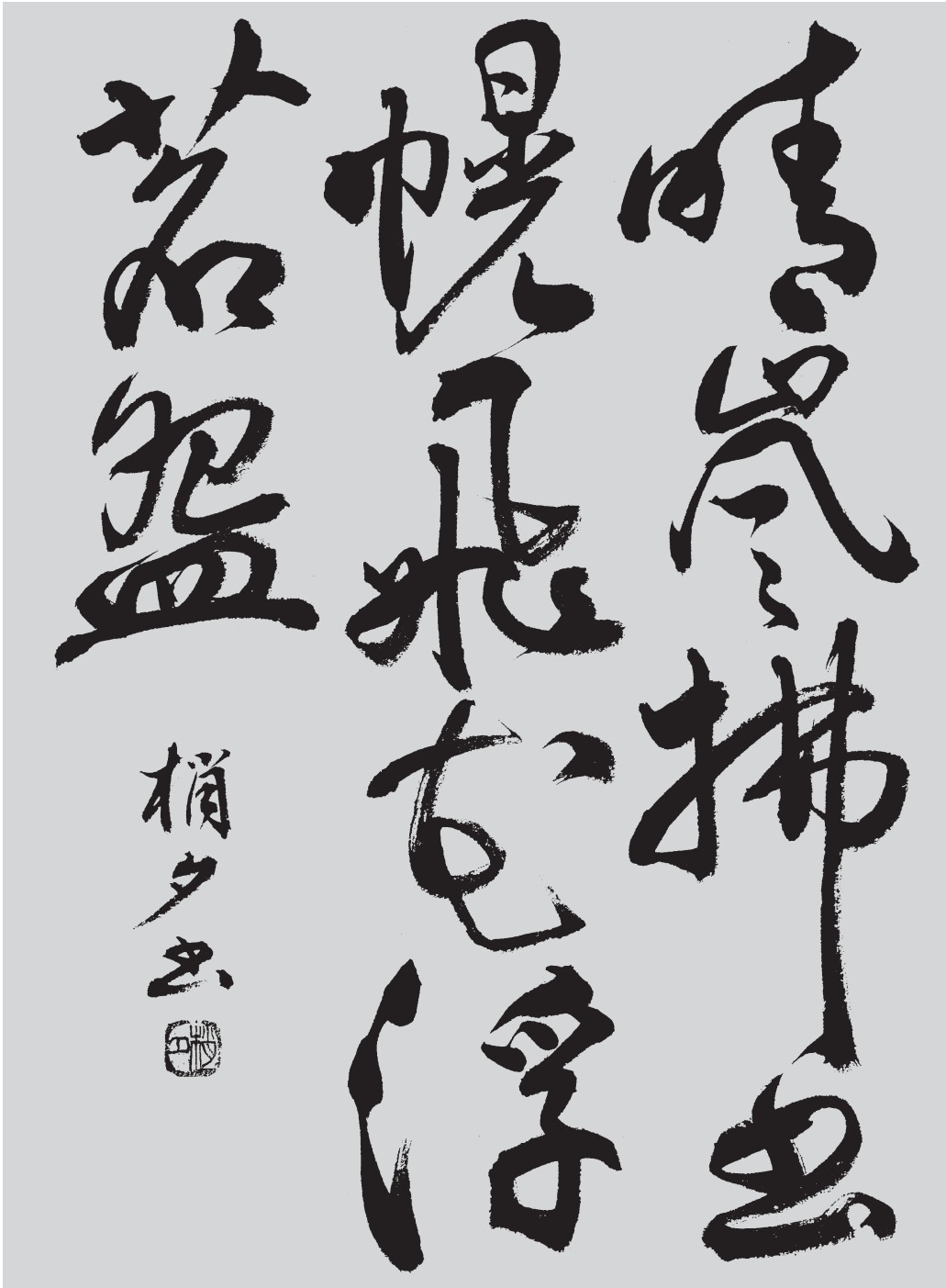
漢字部課題（8ページ・楷書）に連動しています。是非、五体の学習にも取り組んで下さい。
出品する時は、この中のどれか一つを選んで提出して下さい。



◆随意部参考として出品してください。

横山梢夕先生書

晴嵐拂書幌 飛花浮茗盃（葉顛）
晴嵐書幌を払い、飛花茗盃に浮ぶ。



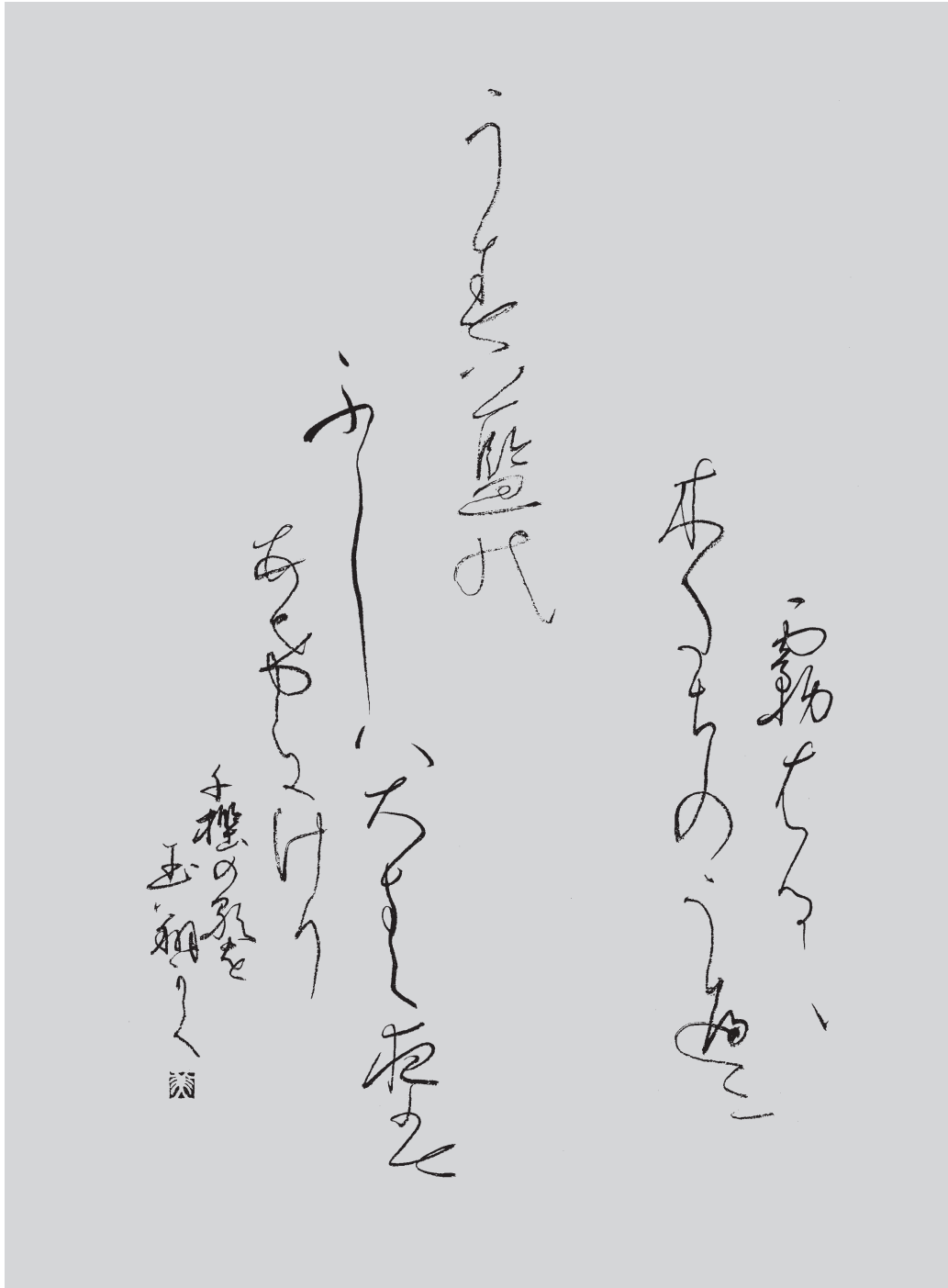
訳：晴れた日の山の光は書窓のとばりを払い、飛び散る落花は茶碗の中に落ちて浮ぶ。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円

随 意 部 参 考

福
田
玉
翔
先
生
書

霧はるる木立のうへにうす藍の富士は大きく夜はあけにけり（古泉千樫）
霧はる、木多ちのう遍二う春藍能ふし八大支久夜盤あ希尔けり



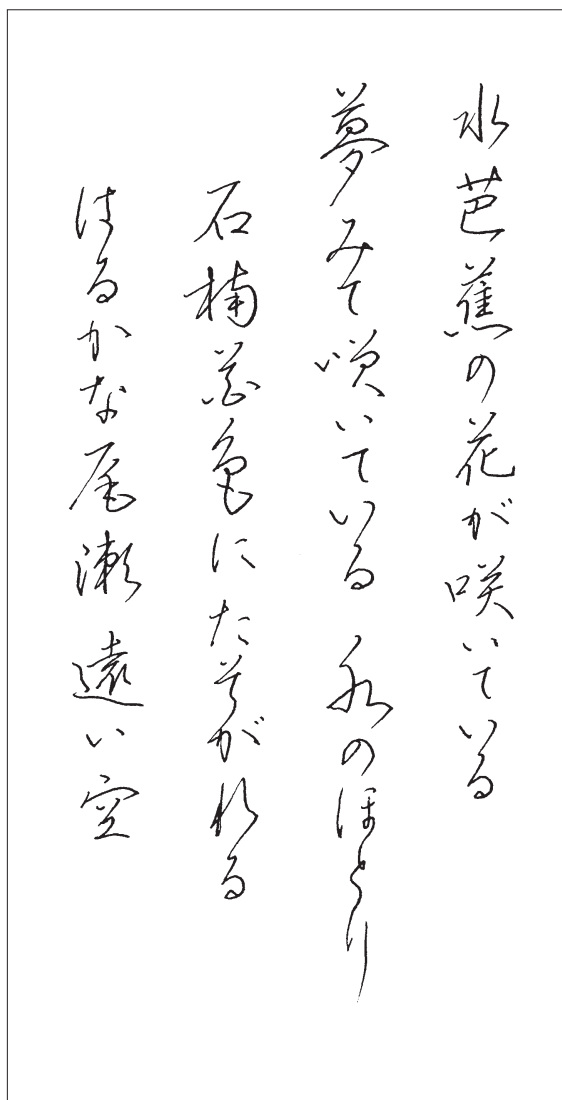
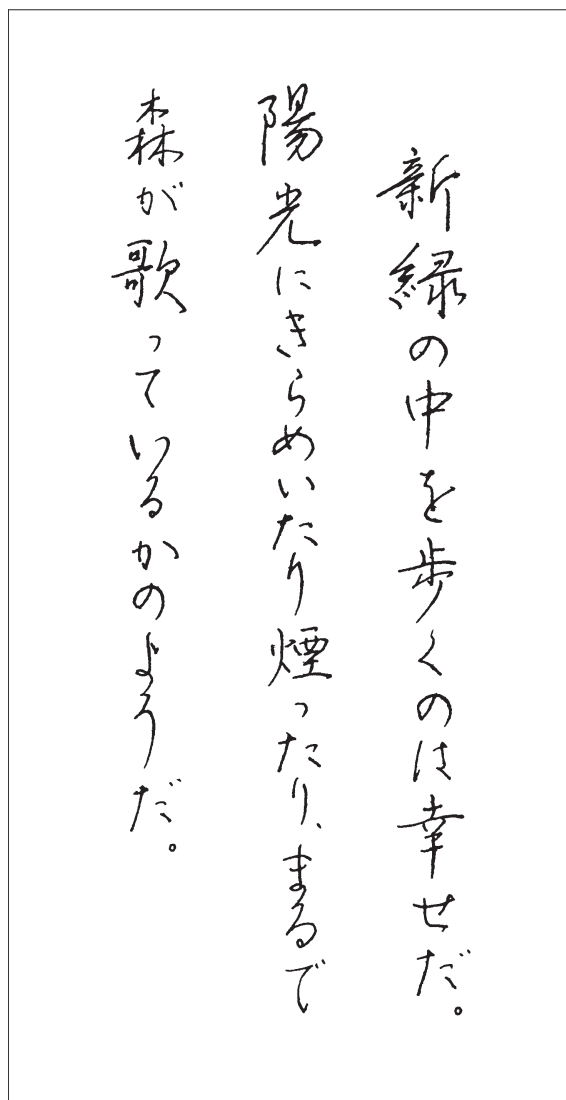
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

水芭蕉の花が 咲いている
夢みて咲いている 水のほとり
石楠花色に たそがれる
はるかな尾瀬 遠い空

「夏の思い出」江間章子

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四二〇円

課題2 (初段階以下)

新緑の中を歩くのは幸せだ。陽光にきらめいたり煙ったり、まるで森が歌っているかのようだ。

「みなみらんぼう山の詩

一步二歩山歩」みなみらんぼう